

新型コロナウイルス及び物価高の影響調査結果

(県民生活局多文化共生課)

1 概要

新型コロナウイルス感染症が外国人県民に及ぼす影響について、令和2年6月、9月、12月、令和3年3月に引き続き、令和4年12月1日時点での調査を実施した。

なお、今回は、物価高の影響についても併せて調査した。

- ・調査対象 外国人県民（ブラジル人、フィリピン人、ベトナム人、インドネシア人）
- ・回答数 156人 ※インターネット調査
（ブラジル27人、フィリピン22人、ベトナム25人、インドネシア82人）

2 調査結果

(1) 現在、困っていること

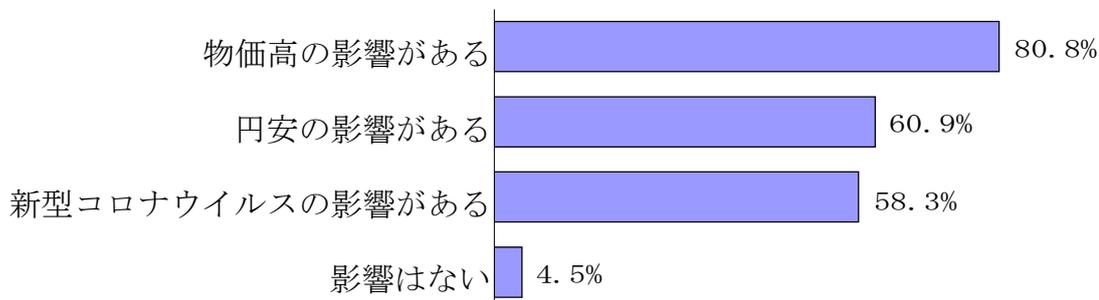
「生活費の増加」が71%と最も多く、次いで「収入の減少」が51%であった。

一方、過去4回の調査で最も回答の多かった「自分や家族の新型コロナウイルス感染」は回答割合は減少している。

選択肢	今回 (R4. 12月)	R3. 3月	R2. 12月	R2. 9月	R2. 6月
生活費の増加	71%	—	—	—	—
収入の減少	51%	66%	63%	68%	79%
新型コロナウイルス収束の見通しが立たないこと	39%	50%	50%	56%	60%
母国の家族や親戚の状況	37%	54%	33%	46%	56%
自分や家族の新型コロナウイルス感染	33%	89%	81%	83%	82%

(2) 生活への影響

「物価高の影響がある」が80.8%と最も多く、次いで「円安の影響がある」が60.9%、「新型コロナウイルスの影響がある」が58.3%であった。



3 今後の対応

多文化共生推進本部内、市町、関係機関等と調査結果の内容を共有し、各種施策の実施に当たっては、外国人県民も取り残さないように、「やさしい日本語」や多言語による情報提供を徹底するよう求める。